

たいりょう す しょくひん
大量に捨てられる食品

前に戻る



④の写真は、約90世帯3日分の家庭ごみに出された食品です。この他、飲食店の食べ残し、コンビニやスーパーなどの期限切れなど、さまざまな場所で食品が捨てられています。

このように、食べられるのに捨てられてしまう食品を「食品ロス」と言います。日本の食品ロスは、年間約646万トン(2017年)です。



食品工場の加工途中で製造ミスにより廃棄されたごはん
 写真提供: 日本フードエコロジーセンター



スーパーなどで売れ残り廃棄された食品

写真提供: 井出留美



育成不良のクレームをうけ、廃棄処分される加工用キャベツ
 写真提供: 村瀬ファーム



食品を購入するとき、消費期限・賞味期限の長いものと短いものどちらを選ぶ? その選び方と食品ロスとはどう関係するのかな?



飢餓に苦しむ人



©UNICEF/UN044710/Commins
 写真提供: (公財) 日本ユニセフ協会

国連WFPの報告によると、世界には食べ物がなくて苦しむ人が8億2100万人(2017年)いるとされています。これは、世界人口の9人に1人にあたります。

食品ロスを減らす企業の取組

商品を手前から取ることを促す「てまえどり」、賞味期限を長くするチルド商品の開発や製造、捨てられる食品のリサイクルなどに取り組んでいます。

およそ
2倍



世界の食糧援助量
 約320万t

データ: WFP発表の数値(2015年)より作成



家庭 約289万t
 販売店 工場など 約357万t
 レストラン



日本の食品ロス
 約646万t

データ: 平成27年度 農林水産省推計より作成



主につながっている目標について調べてみよう!

